

# インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）リッキョウダイカク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）セキゼミナール
立教大学	経済学部	関ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）フライングダイナソー	フリガナ）オオタアサミ	5 名	無
Flying Dinosaur	太田麻美		

## 研究テーマ（発表タイトル）

給茶 café ～ペットボトルを使わない生活へ～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

### 1. 研究概要（目的・狙いなど）

私たちは、ペットボトルごみの削減を目的としています。そのための手段としてペットボトル削減に有効なマイボトルの利用を促し、そもそもペットボトルのごみを出さないことで削減を目指します。

### 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

ペットボトルが環境に及ぼす悲惨な現状を目にした私たちは、自分たちを含めた世の中の人々がペットボトルの形態を非常に好んでおり、それに伴いペットボトルのごみの量が増加していること、それが環境に及ぼす影響が非常に甚大であることを調べ上げ、ペットボトルがとても悪影響を持つことを裏づけました。また、ペットボトルのごみを減らすのに有効な手立てを持つマイボトルですが、もともと大学生が関心を持っていないことが調査の中で分かりました。独自のアンケートの結果マイボトルを持っているにもかかわらず、使っていない人も多くいることが明らかになりました。

### 3. 研究テーマの課題

ターゲットはマイボトルに関心の薄い大学生に絞り、大学生にマイボトルをより使ってもらうために必要なことは以下 2 点であると考えました。大学生がマイボトルを使いやすくする仕組みと、大学生にペットボトルが問題だと理解し、行動してもらうための意識改革です。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

課題解決策として提案するのは、この両者を一挙に解決できる「給茶 café」という仕組みです。

第 1 にマイボトル利用者が増えないことに対しては、マイボトルに飲料を入れる仕組みを作ってマイボトルを使いやすい環境を整備します。これはマイボトル持参で飲料のみ購入できる仕組みで、手順としては注文を行い、係りの者が利用者のマイボトルを洗浄

した後、自身で給茶していただくというシステムです。購入できる飲料はお茶に限定し、ペットボトルを買うよりも価格を安く設定します。これにより、利用したいと思うインセンティブの向上を図ります。

第 2 に大学生にペットボトルが問題だと理解を促すためには、具体的な理解ができる仕組みが必要だと考えました。そこで給茶 café で利用できるアプリを作り、ペットボトルを使わなかったことにより排出を防げた CO2 分をポイントで利用者に還元します。これはアプリ上では、ポイントを貯めると排気ガスが減っていく様を表現することで理解しやすくします。これにあわせてアプリには給茶 café がペットボトルより安価に購入できることから、日々節約できたお金も分かるようになっていきます。これは、金銭に敏感な大学生には大きなインセンティブをもたらすと考えられます。さらに、この活動を広めるためのプロモーションとして SNS を使用します。割引特典をつける等、SNS での拡散と給茶 café の利用率向上を図ります。

## 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

実現可能性について検証すべき点は、設置場所・衛生問題・販売価格・利用・得られる効果の以上 5 点が挙げられます。まず設置場所についてですが、立教大学池袋キャンパスには了承いただくことができました。次の衛生については、衛生の管理のため人の介在をすることとし、洗浄サービスを取り入れることと、自身で注いでいただく形を採用することで解決します。販売価格は、500ml100 円での販売が可能であることが、(株)コカ・コーラ子安様に伺ったところ確認が取れました。利用が実際にあるかについては、アンケートを行い 89%もの方に利用したいとの返答をいただきました。ここから計算すると、アンケートで利用したいと答えていただけた方々の方だけでも年間約 3 万 7 千本のペットボトルが削減できるのです。

## 6. 結果や今後の取り組み

今後の展望としては、1 年間立教大学池袋キャンパスで実施することを第一目標とします。その後給茶 café 改良の上、アプリでは教育面からのアプローチの強化を図ることを目標に掲げます。その上で、立教大学新座キャンパスをはじめとした他キャンパス・他大学にも広めていくことを目指します。

## 7. 参考文献

- P E T ボトルリサイクル推進協議会 リサイクル率の算出 <http://www.petbottle-rec.gr.jp/data/calculate.html>
- P E T ボトルリサイクル推進協議会 参考指標：回収率推移 <http://www.petbottle-rec.gr.jp/data/transition.html>
- P E T ボトルリサイクル推進協議会 ボトル用樹脂需要動向 [http://www.petbottle-rec.gr.jp/data/demand\\_trend.html](http://www.petbottle-rec.gr.jp/data/demand_trend.html)
- 一般社団法人全国清涼飲料工業会 容器別生産量推移（2003～2015）  
<http://j-sda.or.jp/statistically-information/stati06.php>
- 一般社団法人全国清涼飲料工業会 2015 年容器別シェア（生産量ベース）  
<http://j-sda.or.jp/statistically-information/stati06.php>
- 水筒のすすめ <http://www.suitonosusume.com/bring/stop.html>
- 環境省 一般廃棄物の排出及び処理状況等（平成 26 年度）について <http://www.env.go.jp/press/102117.html>
- 環境省 マイボトル・マイカップキャンペーン <http://www.re-style.env.go.jp/bknbr/mybottle/>
- 千葉大学マイボトル事業による成果 [http://kankyo-iso.chiba-u.jp/press/my\\_bottle\\_report.pdf](http://kankyo-iso.chiba-u.jp/press/my_bottle_report.pdf)
- 千葉大学マイボトル事業 実施報告書 [http://env.chiba-univ.net/nishichiba/mybottle\\_m\\_pro.pdf](http://env.chiba-univ.net/nishichiba/mybottle_m_pro.pdf)

## インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

### 特になし

#### <企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となります。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、

A4 サイズでプリントし、3 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。